

令和3年4月

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）
科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム
プロジェクト企画調査事後評価報告書

「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」
プログラム総括 唐沢 かおり

1. 課題代表者

児玉 聡（京都大学 大学院文学研究科 准教授）

2. 課題名

パンデミック対策の国際比較と過去の事例研究を通じた ELSI アーカイブ化

3. 実施期間

令和2（2020）年9月1日～令和3（2021）年3月31日

4. 事後評価結果

プロジェクト企画調査の目標達成状況

本企画調査は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を対象として、新興感染症の公衆衛生上の対策が社会にもたらす ELSI を明らかにし、それらをアーカイブすることで、今後の社会的意思決定や科学技術コミュニケーションの望ましいありようを考える際に必要不可欠なデータベースの構築、さらには社会的弱者の問題やマイノリティに対する差別の問題など、喫緊の問題への解決策を与えるための基礎資料の構築を目標として実施されたものである。なお、本企画調査は、当プログラムにおける COVID-19 など新興感染症に関する課題枠（COVID-19 関連課題枠）として、短期的に実施可能な範囲での基礎調査・アーカイブ研究に取り組む課題として採択した。

企画調査の結果、米国・英国・韓国・台湾などを中心とする海外諸国および国内の COVID-19 に関する法制度や、国際機関の主要レポートなどの基礎資料の収集・翻訳と分析、過去の感染症の予防をめぐる法規制のデータベース化、検索・アクセシビリティに配慮した Web サイトの構築とアーカイブ化、公衆衛生の ELSI という観点での基礎的な調査・検討など、ごく短期間のうちに着実に推進されており、目標は概ね達成されたと評価する。すでに、今後の国際共同研究の検討に着手されているが、COVID-19 など新興感染症に関する ELSI 検討のフレームワークを礎としつつ、それにとどまらず、公衆衛生の ELSI 研究へとさらにスケールアップした研究開発構想への発展を期待する。

以上

(別紙) 評価者一覧

〈プログラム総括〉

唐沢 かおり 東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

〈プログラムアドバイザー〉

大屋 雄裕 慶應義塾大学 法学部 教授

四ノ宮 成祥 防衛医科大学校 学校長

中川 裕志 理化学研究所 革新知能統合研究センター
社会における人工知能研究グループ チームリーダー

西川 信太郎 株式会社グローカリンク 取締役
／日本たばこ産業株式会社 D-LAB プロデューサー

納富 信留 東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

野口 和彦 横浜国立大学 先端科学高等研究院 リスク共生社会創造センター 客員教授

原山 優子 理化学研究所 理事／東北大学 名誉教授

水野 祐 シティライツ法律事務所 弁護士／慶応義塾大学 SFC 研究所 上席所員

山口 富子 国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科 教授

(所属・役職はすべて 2021 年 3 月末時点)